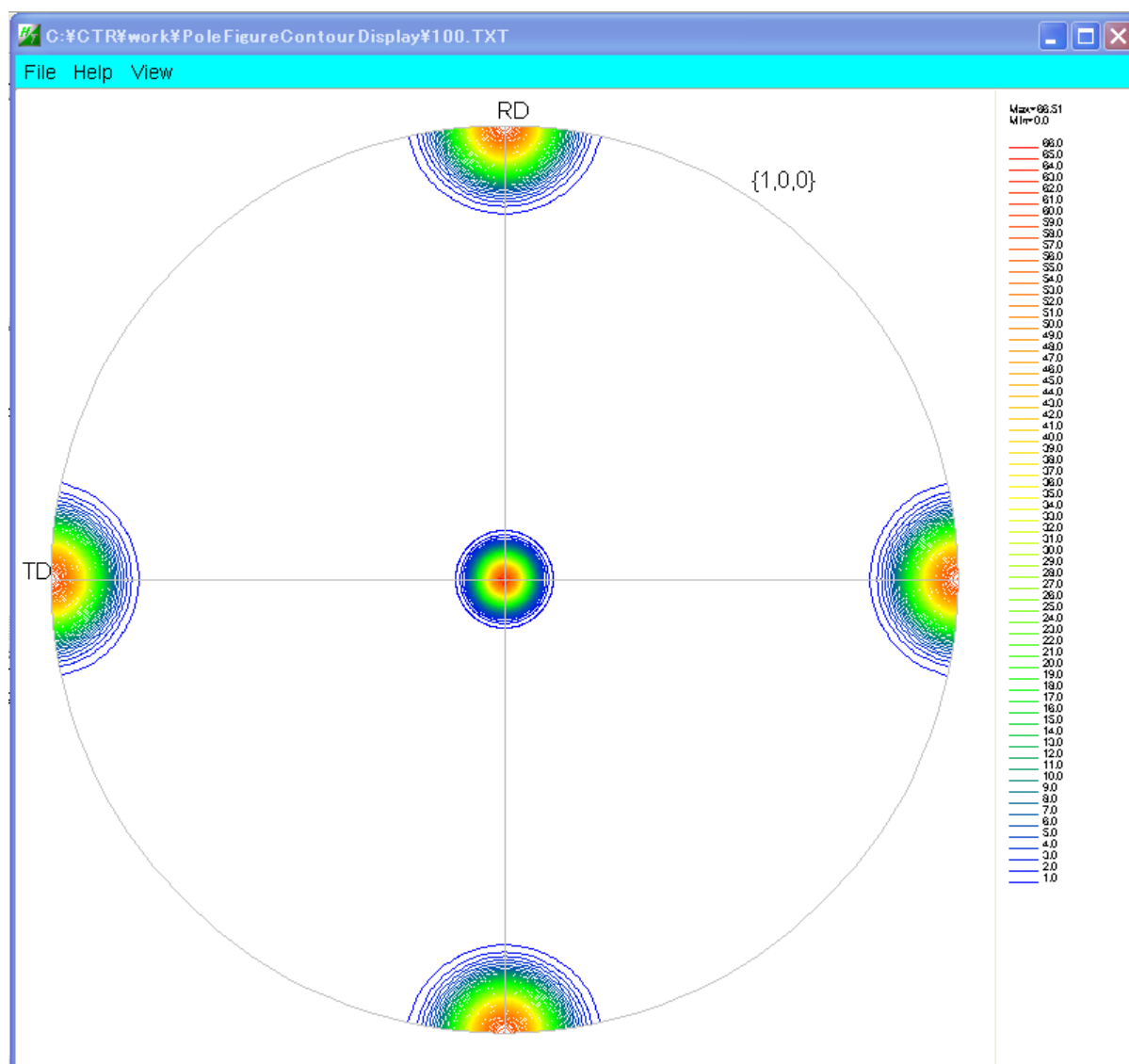


汎用的に使用可能な極点図等高線表示を行う

## P o l e F i g u r e C o n t o u r D i s p l a y ソフトウェア

Ver1.00

PoleFigureContourDisplay(Ver1.00)ソフトウェアはフリーソフトウェアです。  
HelperTex サイトから download し、ご使用下さい。



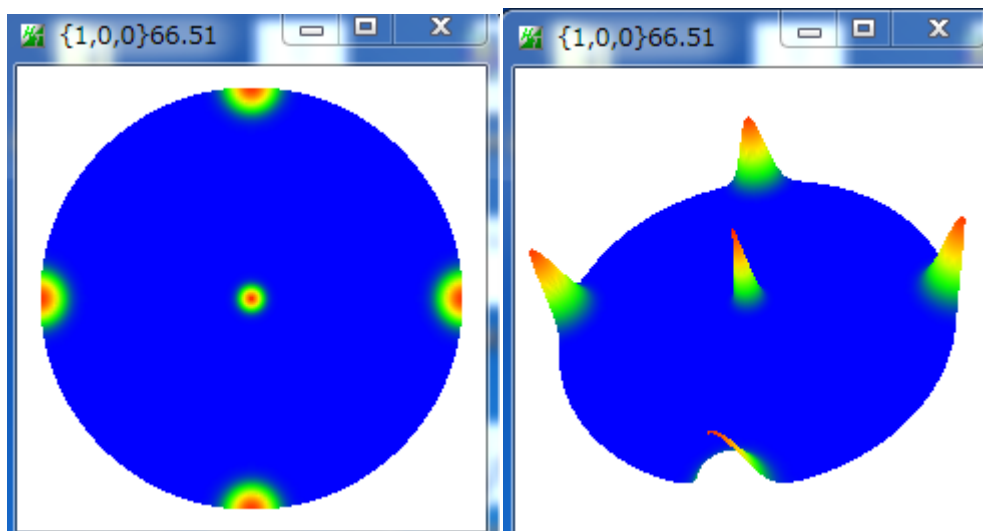
2016年02月24日

*HelperTex Office*

## 概要

手軽に極点図の等高線表示が行えるソフトウェアを提供いたします。

HelperTexOffice では、配向評価ソフトウェアのパッケージソフトウェアとして CTR ソフトウェアを提供し 3D 極点図を採用しています。



しかし、極点図の詳細を調べるには等高線表示も必要となり作成してみました。

## 仕様

### 入力データ

CTRソフトウェア内部の標準フォーマットであるTXT2データ

極点図の中心 $\alpha$ 角度が90度

中心が0度の場合、内部で変換が行われます。

RD方向は、 $\beta = 0$ 度

TD方向は、 $\beta = 90$ 度

フォーマット ( $\alpha$ 、 $\beta$ 、極密度) (データの区切りは、タブ、スペース、カンマ)

15.0	0.0	0.2512↓
15.0	5.0	0.2671↓
15.0	10.0	0.2577↓
15.0	15.0	0.2556↓
15.0	20.0	0.265↓
15.0	25.0	0.2639↓

### 動作環境

Windows

java環境

### 機能

平滑化

$\beta$  範囲が  $0 \rightarrow 360$  度の場合に限ります。

# T X T 2 データ



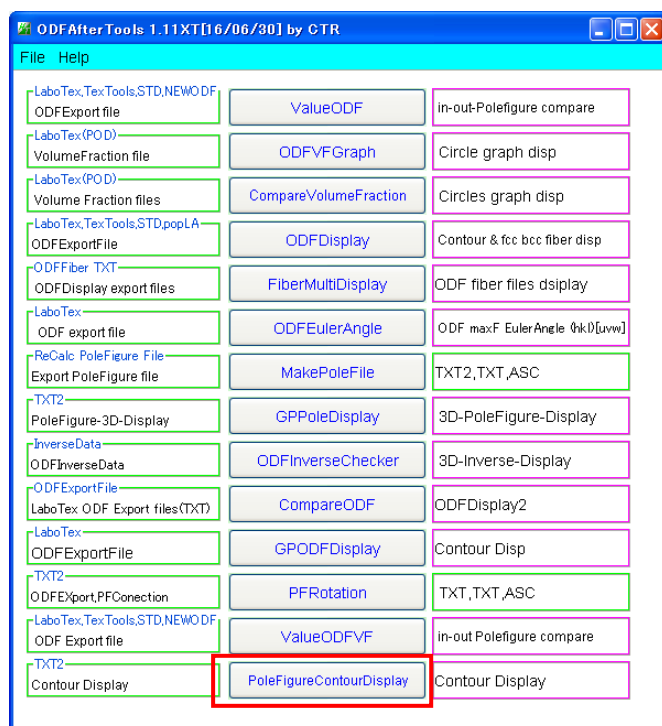
各メーカーの X 線測定装置で測定されたデータをデータ変換し極点データ処理を行うと T X T 2 データが作成され、各種データ解析が行われています。  
 O D F 解析の場合、各種 O D F ソフトウェアに合わせた O D F 入力データを作成  
 O D F 解析後、再計算極点図を E x p o r t とし、データ変換で再計算極点図の T X T 2 を作成

## ソフトウェアの起動

C:\¥CTR¥bin¥PoleFigureContourDislay.jar のダブルクリック

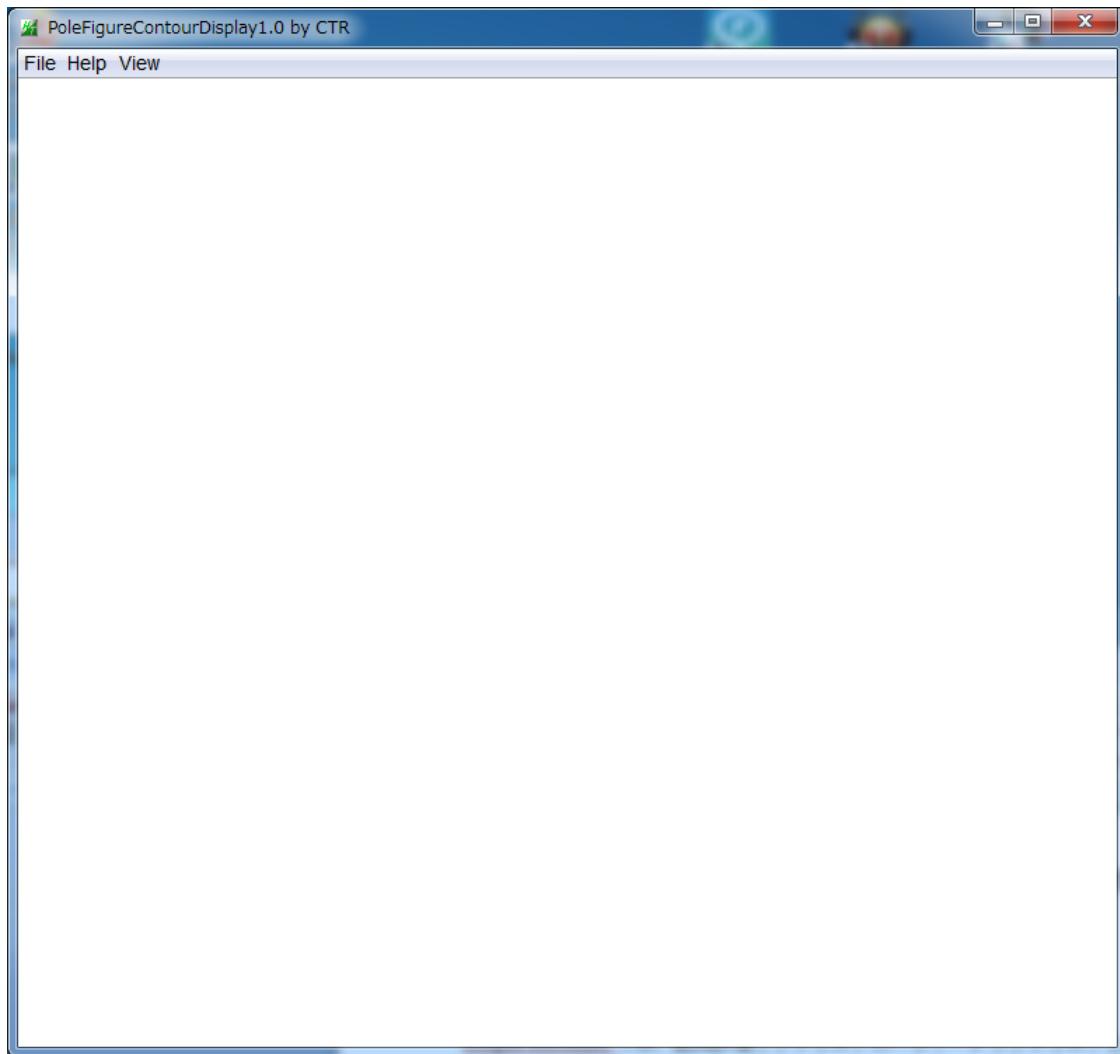
CTR ソフトウェアをご使用の方は

ODFPoleFigure2(1.5)->Toolkit->ODFAfterTools->PoleFigureContourDislay の選択

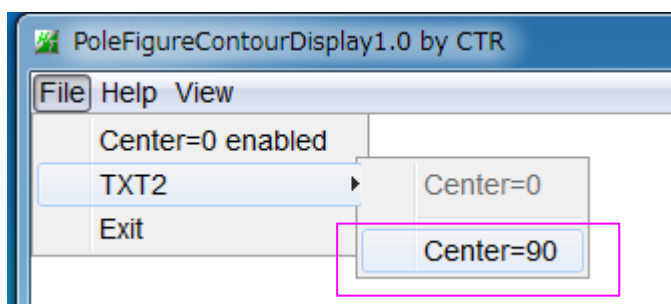


## ソフトウェアの使い方

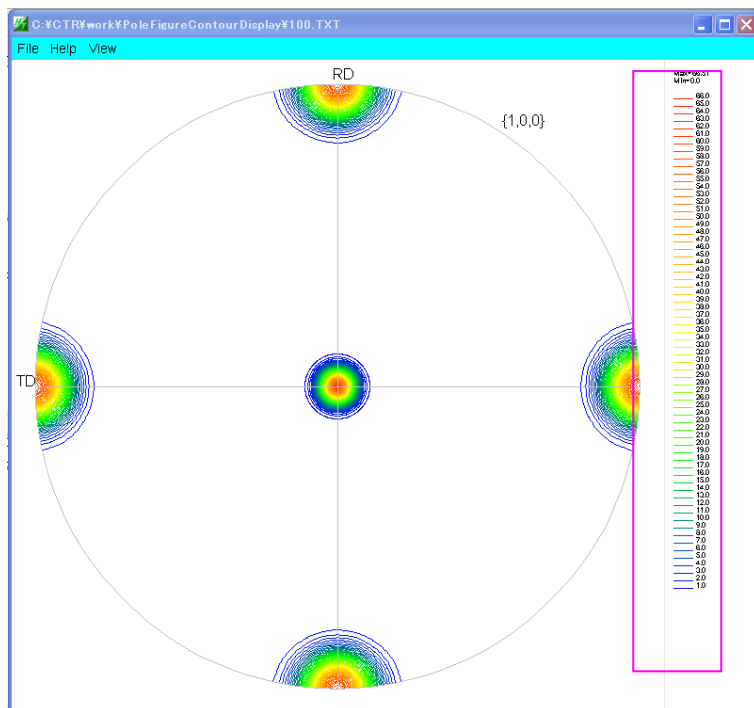
起動画面（タイトル部分に使用できる期限が表示されていなければフリーを意味します）



## T X T 2 ファイルの選択

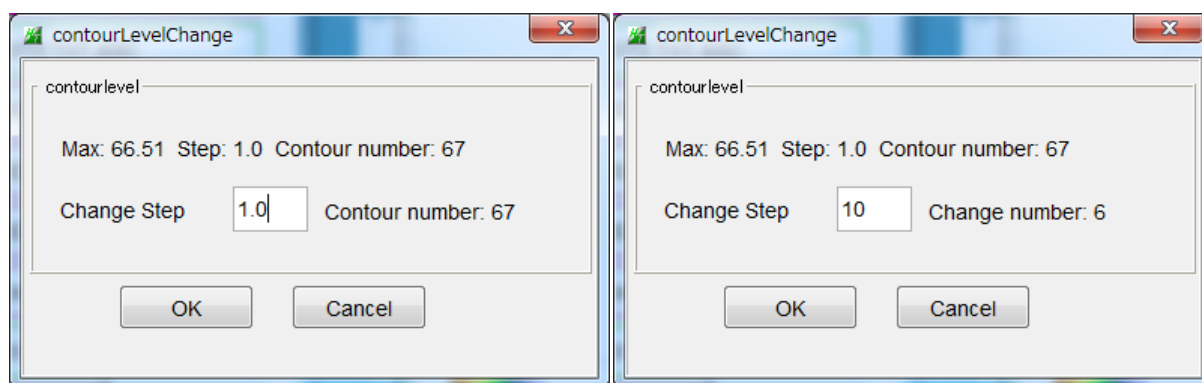


選択したファイル名がタイトル部に表示される。ファイル名の先頭が指数の場合、指数表示される

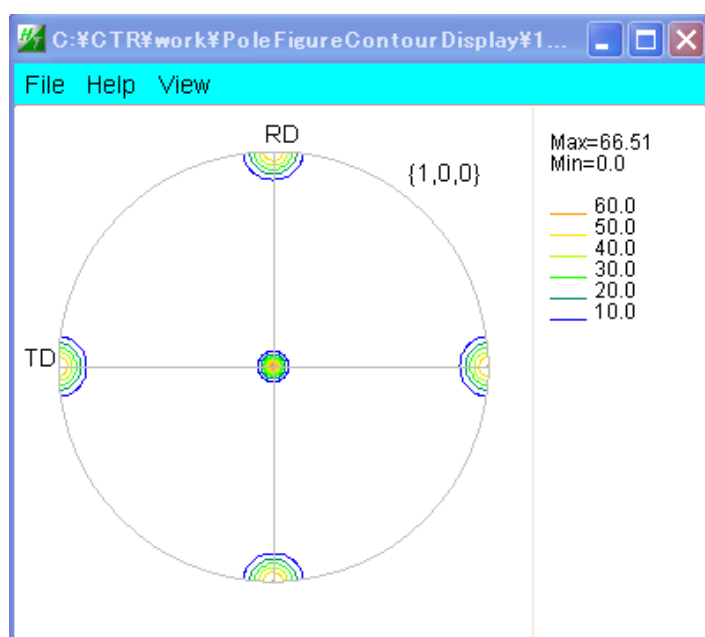


等高線レベル変更

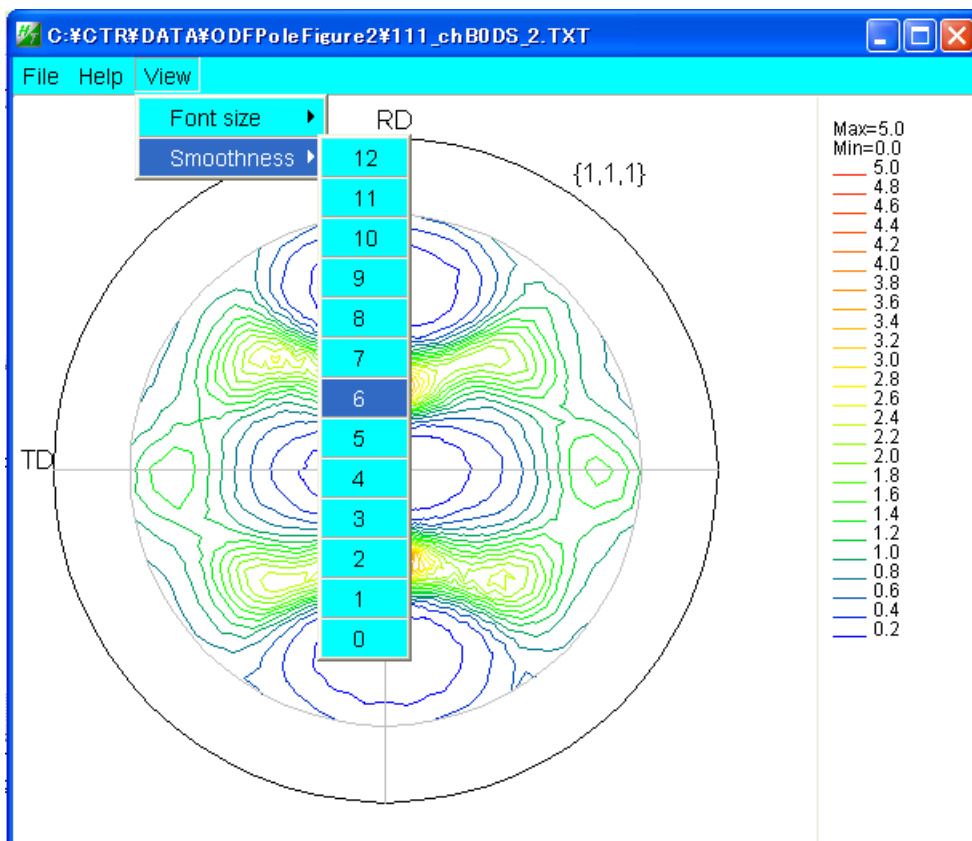
等高線部分をマウスクリック



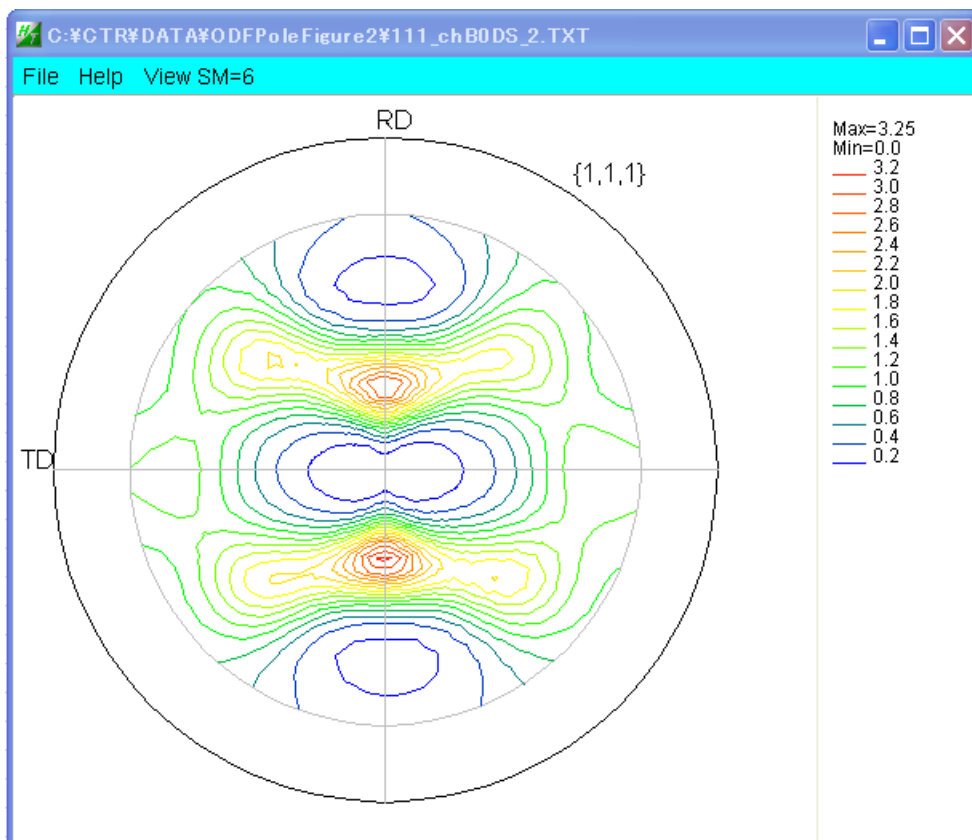
等高線間隔を入力、Enter Keyで確認、OKで等高線間隔が変更される。



## 等高線の平滑化



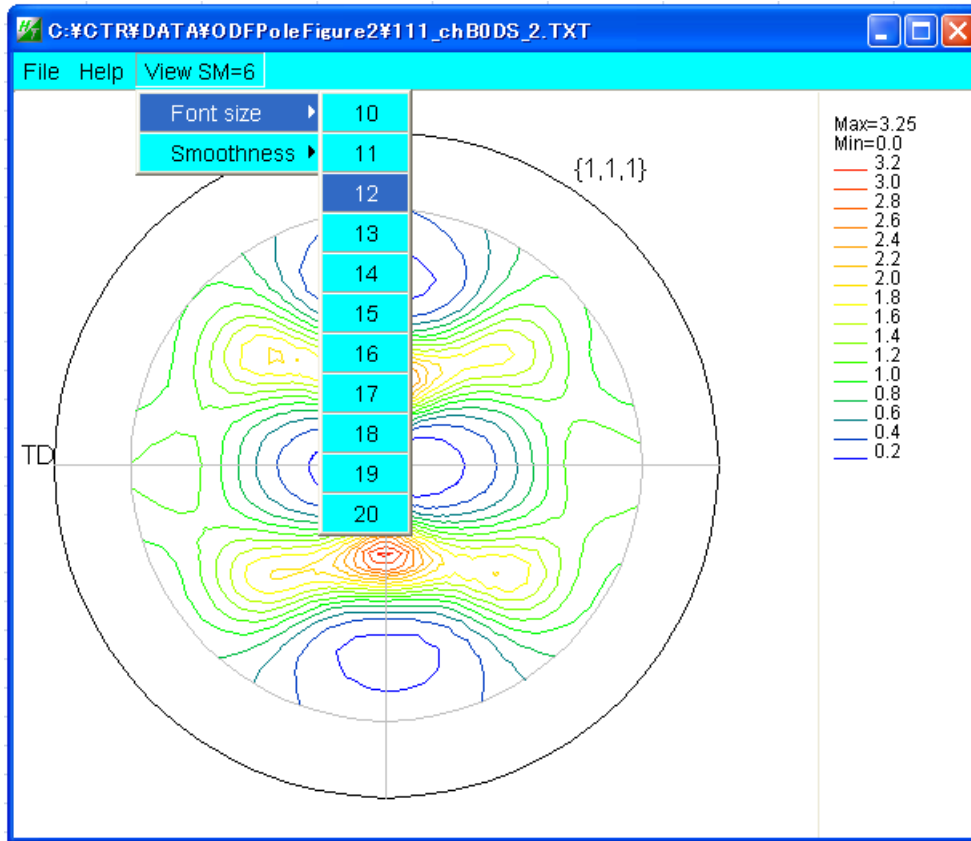
Smoothness の平滑サイクル数の選択



平滑化により最大密度が低下します。

## 等高線 Font サイズ

Font サイズをして出来ますが、表示領域と等高線数により Font サイズに影響を受けます。



PoleFigureContourDisplay の Ver1.00 はフリーソフトウェアに設定されていますが、以降、バージョンアップされるソフトウェアはフリーソフトウェアではありません。

Ver1.00 以降もインストールされる場合、フリーソフトウェアの名前を変えてから新しいソフトウェアをインストールして下さい。